



皆様、寒中お見舞い申し上げます。

皆様にとって2018年はどんな年だったでしょうか。

デフパペにとって、2018年は怒涛の年でした。

その中で一番大きな出来事は、新作「河の童」を製作したことです。

「森と夜と世界の果てへの旅」を全国各地で公演するかたわら、2016年に新作の企画が始動してメンバーとスタッフが話し合いを重ね、ついに2018年2月に川崎市で初演を迎えました。

地元川崎市で初演を迎えるのは実に13年ぶり。川崎市でデフパペを応援してくださる方々と観る会を結成し、おかげさまで4日間5回の公演、合わせて1000名近いお客様に来て頂きました。

川崎市公演の後、作品をよくするため、稽古直しをして、横浜市にて初演から初となる地方公演をしました。

そしてその後は地方公演...2018年は、九州・四国・北信越・関西でツアーをし、24か所で公演をすることができました。

初めてになる「河の童」の地方公演。この作品が全国各地の地方たちに受け入れてもらえるか、始まる前は、不安でしたが、終わってみればどの地方のお客様も、皆様に楽しんでいただけたと感じております。

公演の度に進化を続ける「河の童」2019年も全国各地で公演いたします。お近くで公演がありましたら、ぜひお越しください。

☆欄外ニュース1☆  
2019年最初の公演は、TYAインクルージブ・アーツ・フェスティバル2019での「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール♪」！詳細はHPをご確認ください。



▲川崎市公演 舞台挨拶の様子

### ▼一寸法師 台湾公演の様子



### ★欄外ニュース2★

2019年はラオスの劇団「カオニャオ」と、日本とラオスの相互でワークショップをします！  
「カオニャオ」は、デフと同じく、ろう者が参加するラオスの人形劇団です。

2018年のデフパペの出来事で、もう一つ大きなニュースは、久しぶりに海外公演をしたことです。

2008年に「はこ」を韓国で公演して以来、10年ぶりになる海外公演は、台湾での「一寸法師」でした。

日本手話と日本語でのセリフでの上演でしたが、事前に台湾語でのレクチャーや物語のあらすじをパネルで展示してくれていたこともあり、多くのお客様に笑って楽しんでいただきました。

デフパペも台湾の人形劇「布袋劇」の展示などを観て、とても刺激をもらって帰ってきました。

今後とも海外の方々と触れ合い、楽しいことを続けて行きたいと思います。

そして例年通り、文化庁の委託による「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール♪」の学校公演を継続することができました。

今年は中国地方の学校を公演で周りました。

新しいこと、継続すること、様々な出来事がある、忙しくも充実した一年でした。

さて、2019年はデフパペにとってどんな年になるでしょうか。

まだまだ、「河の童」をお届けできていない地域の方々に、お届けしていきたいと思えます。

それだけでなく、また新しいことに挑戦する精神も忘れずに努力を続けていきたいです。

是非、皆さんとまたお会いできればうれしいです！

今年も何卒宜しくお願い致します。



今年も  
よろしく  
お願い致します



# ☆メンバーの振り返り&目標☆

善岡 修

## ●2018年 振り返り●

あっという間に過ぎた2018年  
2018年はインフルエンザが流行った中での新作「河の童」の発表。  
脱水症状にかかるほどの猛暑に行く手を阻む台風や地震や土砂災害、水害など…  
振り返ると本当に自然災害で不安になった日々の方が多かった印象でした。

## ○2019年 目標 ○

2019年度はひとみ座70周年記念作品の「どろろ」で、普段ひとみ座のみなさんと一緒に演じることがなかなかないので、楽しみにしています。  
それから年明けにはラオスに飛んで、ラオスの劇団「カオニャオ」とラオスのろう学校やラオスのみなさんとワークショップをやる国際交流も楽しみにしています。

やなせ けいこ

## ●2018年 振り返り●

デフパペットの新作「河の童」創り・稽古、公演、ワークショップや、ひとみ座の作品に作曲で参加、などいろんな事で充実していました。が、目の前のことをバタバタとこなしていただけの時期もあり、もう少し気持ちに余裕があるといいなと感じていましたね。

## ○2019年 目標 ○

新作をもっと良い作品にすることも考えながら、デフパペットの小作品創りの準備を始めたいと思います。  
2人か3人ぐらいで小さな場所でもできる、ちょっとおしゃれな作品・・・具体的にはまだこれからですが、始めたいと思います

榎本 トオル

## ●2018年 振り返り●

いいと思うこと よかったと思うこと  
デフパペ全員で河の童の舞台装置のタタキに参加したことです。  
人形の製作を手伝うことももちろんやりましたが…  
美術さんの指示で大道具の大きなパネルや黒袖パネルを作ったり道やパンチカーペットやパネル背景幕などに色を塗りました。  
皆でつくると楽しい…デフパペ皆で作ったんだ…ほこりに思いました。

## ○2019年 目標 ○

誰かと小さな人形芝居をやれたらいいと思う。  
たとえば、えっと…サーカスみたいとか  
たとえば、えっと…

鈴木 文

## ●2018年 振り返り●

去年はデフパペ新作の発表や乙女文楽の新レパ公演、その他諸々劇団に関わる仕事が多く、多忙だったという実感があります。  
まあ、自分も劇団内で中堅どころの部類に入り、やるべきことが増えたということでしょうか…。

## ○2019年 目標 ○

「河の童」の人形をもっと魅力的に遣えるようにします！また劇団の色々な活動に関われるよう、心と身体コンディションを整える、少～しでも人形遣いの技量を上げるよう、トレーニングをする、自分をしっかり省みることを目指します。

鈴木 香澄

## ●2018年 振り返り●

約2年の歳月を費やして完成した『河の童』を川崎にて無事にお披露目でき、そこから全国の皆さまへとお届けする事が出来ました。  
その他にも今年はWSや学校巡業公演などもありとても実りある1年となりました。

## ○2019年 目標 ○

2019年はラオスへ行きます！  
劇団『カオニャオ』とのWSというとても貴重な体験をさせて頂けるのでたくさんの事を吸収して帰ってきたいと思います。

増子 仁美

## ●2018年 振り返り●

デフパペの活動に参加するようになって約1年。思えば初めてづくしだった2018年。特に7月から始まった「河の童」のツアーは鮮烈でした。おかげさまで少しはタフになれたんじゃないかな。過酷さの中にも確かな実りがあった1年だったように思います。

## ○2019年 目標 ○

デフパペ2年生になる2019年度。右も左も分からない新入生だった2018年の経験をもとに能動的に動いていく年にしたいです。あとはとにかく上手になりたい。2019年も精進あるのみだと思っています。

大里 千尋

## ●2018年 振り返り●

今年は初めて新作を一から創り上げる現場に制作として携わりました。  
製作スタッフと役者の本気がぶつかり合い、誰もがいい作品をお客さまに届けたいと全速力でした。  
また出来立てホヤホヤの新作を7年ぶりに九州や四国、近畿方面に届けることが出来ました。  
お客さまや実行委員会の皆さんの生の感想を聞き、一つの作品が少しずつ進化していく姿近くで見ることができました。

## ○2019年 目標 ○

2019年のデフパペは、ラオスの人形劇団とのワークショップや日本ろう者劇団とのワークショップ、TYA インクルーシブフェスティバルへの参加など外部の方と協同する機会が増えます。  
外部のいろいろな活動をする団体とコラボをして、デフパペの魅力を伝え、そして外からも刺激をたくさんもらい、更なる新しい視覚表現の追及、誰もが楽しめる人形劇創りに力を入れていきたいです。

中西 優樹

## ●2018年 振り返り●

2018年は初めてのできことばかりでした。川崎市での13年ぶりの自主公演、制作として最初から最後までついた初めてのツアー。大変なことも多かったですが、乗り越えて、成長につながる事ができたかなと思っております。

## ○2019年 目標 ○

制作として、まだ公演できていない地域にも「河の童」を公演していきたいです！  
そして、地域の方々との公演を通じて交流しつづけ、その中で制作として学んでいきたいです！  
もちろん「河の童」以外の演目もお届けしたいです！